

MI_2135 : UPS 3AC400Vへのユニット接続_修正_iCombi Pro



該当するユニットを参照



35分



標準



2024年7月23日

テーマ

不安定な電圧供給は、コンポーネント（ファンモーター、ボードなど）の破損につながる可能性があります。したがって、電源が不安定な場合には電圧安定装置の接続を、あるいは短時間の停電も発生する場合には無停電電源装置（UPS）の接続をお勧めします。

この修正により、ファンモーターおよびボードに電力が個別に供給されます。

対象となる製品/アクセサリー

iCombi Pro 電気式

- 6-1/1
- 6-2/1
- 10-1/1
- 10-2/1
- 20-1/1
- 20-2/1

必要な工具

- 標準

必要となるコンポーネント

- 本説明書で対象となるキット番号（ある場合）は以下のとおりです。
 - 40.07.559S 3AC 400/415/440/480V 6 1/1 6 2/1
 - 40.07.560S 3AC 400/415/440/480V 10 1/1 10 2/1
 - 40.07.561S 3AC 400/415/440/480V 20 1/1 20 2/1
- この改造キットを使用することで、ファンモーターおよびボードに電力が個別に供給されます。UPSは改造キットに含まれていないため、現地で調達する必要があります。
少なくとも以下の出力容量と定格電流のUPSを使用してください。

ユニットのサイズ	出力容量	定格電流
6-1/1	1KW	16A
6-2/1	1KW	16A
10-1/1	1KW	16A
10-2/1	1.5KW	16A
20-1/1	1.5KW	16A
20-2/1	2KW	16A

- さらに、ユニット電圧が3AC 400/415/440/480Vの場合、UPSの出力電圧は3AC 400/415/440/480Vに相当する必要があります（銘板上の電圧と同一）。

キットには、以下のコンポーネントが含まれています。

コンポーネント	品番
ケーブルタイ (x 6)	4005.0101
保護導体端子 4mm ² (1x)	40.04.638
WGOクランプ	---

一般情報

- この修正により、ファンモーターおよびボードに電力が個別に供給されます。
- 複数のモーターをUPSに接続することが可能です。本書では、モーターを対象とした改修について説明します。

注記

コンポーネントの取り付けをサービスレベルに記入します（タブ「コンポーネントの交換」）。これはメンテナンス履歴の一部です。

安全上の指示

⚠ 危険

電源に接続する際の高圧

高電圧を扱う際には人命の危険が生じるおそれがあります。

- 電源との接続を切ってください。
- ユニットに通電されていないことを確認してください。

⚠ ご注意

本体の鋭いエッジ

作業の際に、ユニット内のボディーの鋭いエッジで切り傷を負うおそれがあります。

保護用手袋を用いてください。

修正ログ

この説明書の前バージョンの変更事項:

- 「必要なコンポーネント」の章で、品番にその他の注記が追加されました。

作業手順 - 接続ケーブルの取り付け

- ✓ ユニットが非通電状態で、電装部が開けられています。
- ✓ UPSがユニットの外にあります。

- 接続ケーブル用に開口部を作ります。開口部には以下のオプションがあります。

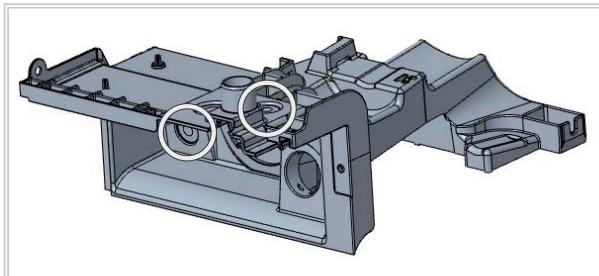


図 1: 卓上型ユニットのケーブル用開口部

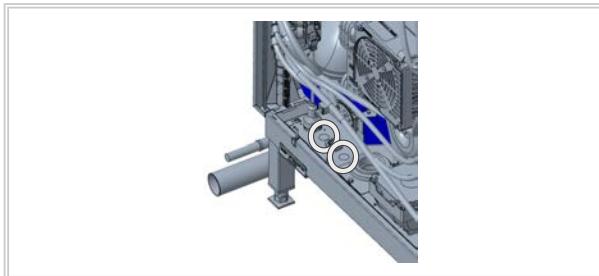


図 2: 床置き型ユニットのケーブル用開口部

- 接続ケーブルからケーブルグランドを取り外します。
- ケーブルグランドを所定の開口部にねじ込んで固定します。
- 接続ケーブルをケーブルグランドを通して内側から外側に引っ張り、締めます。
- 接続ケーブルにステッカーを貼ります。
- ファンモーターから電圧供給を外し、ケーブルをハーネスにしっかりと固定します。ユニットサイズによって、プラグの数は異なります。
- UPS接続ケーブルのモータープラグをファンモーターに取り付けます。



- 入力側のケーブルをヒューズF1およびF2から外して、これをWAGO端子で絶縁します。

9. UPS接続ケーブルをヒューズF1およびF2に接続します。
保護導体端子を接続し、黄色 / 緑色のケーブルを接続します。

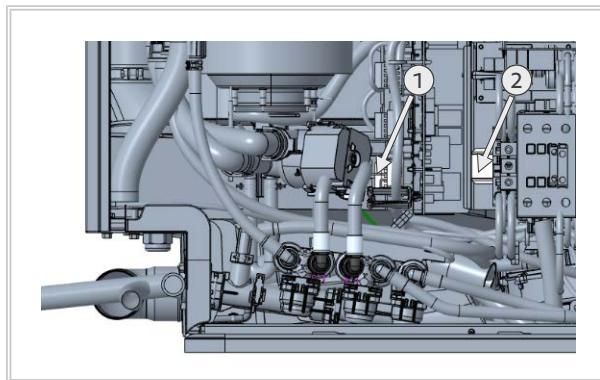


図3: 卓上型ユニット

1	ヒューズ F1およびF2の接続
2	保護導体の接続

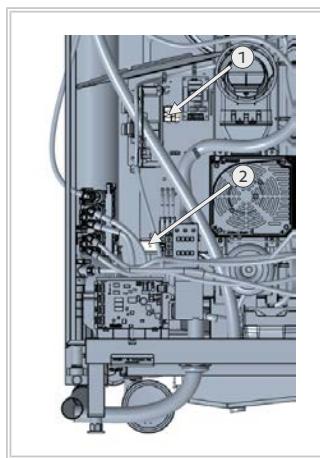


図4: 床置型ユニット

1	ヒューズ F1およびF2の接続
2	保護導体の接続

10. 接続ケーブルをUPS（無停電電源装置）に接続します。
11. ユニットを電源に接続し、試運転を実行します。
12. 電圧専用のステッカーを左サイドパネルに貼り付けます。
13. 地域の規定に従って、適切な電気工学試験を実施してください。
>> これで取り付けの完了です。ユニットを再び稼動できます。

